

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 第一カッター興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	4,839	9.9	488	133.6	512	109.6	309	117.6
25年6月期第2四半期	4,404	10.3	209	△32.1	244	△26.3	142	△32.9

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 319百万円 (120.5%) 25年6月期第2四半期 144百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年6月期第2四半期	108.62	—	—	—
25年6月期第2四半期	49.92	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
26年6月期第2四半期	6,727	—	5,088	—	74.7	1,765.34	—	
25年6月期	6,145	—	4,797	—	77.2	1,666.80	—	

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 5,024百万円 25年6月期 4,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
25年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	10.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,019	5.2	718	41.5	762	29.9	454	32.8	159.52	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	3,000,000 株	25年6月期	3,000,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	154,040 株	25年6月期	154,002 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	2,845,988 株	25年6月期2Q	2,846,054 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の弾力的な経済・財政政策を通じた円高是正及び株価上昇等を背景として、企業収益の改善や個人消費マインドの上昇へとつながり、また実質GDPが4四半期連続でプラス成長となるなど、着実に上向きつつあります。しかしながら、引き続き新興国における経済成長の減退による影響や、消費税増税による駆け込み需要の反動減及び消費減退への懸念等から、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。建設業界におきましては、公共投資については復興関連予算の執行による政府建設投資の増加を通じて堅調に推移し、また民間設備投資についても回復傾向がみられ、2020年東京五輪開催決定により今後の需要増加が見込まれるものの、建設コストの高騰及び労働者不足の問題等により、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況下で、当社グループ全体の売上高は4,839百万円（前年同期比9.9%増）となり、営業利益は488百万円（前年同期比133.6%増）、経常利益は512百万円（前年同期比109.6%増）、四半期純利益は309百万円（前年同期比117.6%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）に減少し、第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に増加いたします。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(切断・穿孔工事事業)

切断・穿孔工事事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、発電所改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事事業の完成工事高は4,729百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等の新規顧客の開拓、またサービスの強化に努めてまいりました。その結果、完成工事高は94百万円（前年同期比60.7%増）となりました。

(その他)

リユース事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、売上高は15百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ581百万円増加し、6,727百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ291百万円増加し、1,638百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ290百万円増加し、5,088百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は74.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当第2四半期連結累計期間において、営業活動で252百万円の増加、投資活動で211百万円の減少、財務活動で35百万円の減少となった結果、1,736百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は252百万円（前年同期は259百万円の減少）となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益が512百万円、仕入債務の増加による収入が147百万円、売上債権の増加による支出が422百万円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は211百万円（前年同期は454百万円の減少）となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出が202百万円、定期積金の預入による支出が12百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は35百万円（前年同期は5百万円の減少）となりました。主な要因としては、配当金の支払による支出が28百万円、長期借入金の返済による支出が7百万円あったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境の影響を受け、第2四半期連結累計期間の業績予想に差異が生じる結果となりました。これにより、平成25年8月12日付で発表いたしました「平成25年6月期決算短信」における平成26年6月期の第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)及び通期(平成25年7月1日～平成26年6月30日)の業績予想について、修正を行っております。

詳細については、平成26年2月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,163	1,754,764
受取手形・完成工事未収入金	1,597,845	2,013,782
未成工事支出金	138,873	190,058
材料貯蔵品	52,359	60,109
繰延税金資産	35,507	35,507
その他	83,163	51,857
貸倒引当金	△5,185	△5,835
流動資産合計	3,640,726	4,100,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	491,261	610,392
減価償却累計額	△202,111	△215,502
建物及び構築物(純額)	289,150	394,890
機械装置及び運搬具	1,940,003	2,017,214
減価償却累計額	△1,591,737	△1,635,306
機械装置及び運搬具(純額)	348,265	381,907
工具、器具及び備品	80,968	84,095
減価償却累計額	△61,253	△65,185
工具、器具及び備品(純額)	19,715	18,909
土地	1,318,012	1,318,012
建設仮勘定	53,803	21,987
有形固定資産合計	2,028,946	2,135,707
無形固定資産	19,128	17,516
投資その他の資産		
投資有価証券	134,585	140,103
繰延税金資産	159,466	159,466
その他	179,490	192,243
貸倒引当金	△16,633	△17,879
投資その他の資産合計	456,908	473,933
固定資産合計	2,504,983	2,627,156
資産合計	6,145,709	6,727,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	339,916	487,570
1年内返済予定の長期借入金	14,316	14,316
未払法人税等	83,082	200,342
賞与引当金	28,040	31,790
その他	399,257	429,355
流動負債合計	864,612	1,163,374
固定負債		
長期借入金	72,047	64,889
退職給付引当金	339,089	337,050
役員退職慰労引当金	67,397	68,992
資産除去債務	4,629	4,664
固定負債合計	483,164	475,597
負債合計	1,347,776	1,638,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,930,325	4,210,745
自己株式	△122,026	△122,065
株主資本合計	4,743,698	5,024,080
少数株主持分	54,233	64,349
純資産合計	4,797,932	5,088,429
負債純資産合計	6,145,709	6,727,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高		
完成工事高	4,393,483	4,823,781
商品売上高	11,458	15,222
売上高合計	4,404,941	4,839,003
売上原価		
完成工事原価	3,287,892	3,376,643
商品売上原価	2,016	11,716
売上原価合計	3,289,908	3,388,359
売上総利益		
完成工事総利益	1,105,590	1,447,138
商品売上総利益	9,442	3,505
売上総利益合計	1,115,032	1,450,644
販売費及び一般管理費	905,849	961,931
営業利益	209,183	488,713
営業外収益		
受取利息	87	131
受取保険金	3,182	991
受取家賃	9,300	9,096
負ののれん償却額	228	—
持分法による投資利益	16,092	10,317
雑収入	16,173	10,688
営業外収益合計	45,063	31,225
営業外費用		
支払利息	645	271
売上債権売却損	147	30
不動産賃貸原価	6,016	5,558
雑損失	2,651	1,118
営業外費用合計	9,461	6,978
経常利益	244,785	512,960
特別利益		
固定資産売却益	2,010	727
特別受取保険金	530	—
負ののれん発生益	8,981	—
特別利益合計	11,521	727
特別損失		
固定資産売却損	68	84
固定資産除却損	432	707
減損損失	18,802	—
特別損失合計	19,303	792
税金等調整前四半期純利益	237,003	512,895

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
法人税等	92,242	193,660
少数株主損益調整前四半期純利益	144,760	319,235
少数株主利益	2,686	10,115
四半期純利益	142,074	309,119

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,760	319,235
四半期包括利益	144,760	319,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,074	309,119
少数株主に係る四半期包括利益	2,686	10,115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	237,003	512,895
減価償却費	97,111	98,408
長期前払費用償却額	122	271
のれん償却額	209	209
負ののれん償却額	△228	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,352	1,894
受取利息	△87	△131
支払利息	645	271
持分法による投資損益 (△は益)	△16,092	△10,317
固定資産売却損益 (△は益)	△1,941	△642
固定資産除却損	432	707
受取保険金	△3,182	△991
特別受取保険金	△530	—
負ののれん発生益	△8,981	—
減損損失	18,802	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,825	1,595
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15,805	△2,039
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	3,750
未払費用の増減額 (△は減少)	△70,128	1,120
未払金の増減額 (△は減少)	△78,198	△9,445
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,459	27,637
売上債権の増減額 (△は増加)	△151,774	△422,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△85,379	△58,935
仕入債務の増減額 (△は減少)	97,984	147,863
その他	△26,327	32,101
小計	△33,627	324,223
利息及び配当金の受取額	2,487	4,931
利息の支払額	△645	△271
保険金の受取額	3,182	991
特別保険金の受取額	530	—
法人税等の支払額	△231,337	△77,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	△259,411	252,035

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
定期積金の預入による支出	—	△12,000
有形固定資産の取得による支出	△256,772	△202,002
有形固定資産の売却による収入	14,890	2,921
子会社株式の取得による支出	△16,478	—
貸付けによる支出	△12,315	△5,000
貸付金の回収による収入	367	3,839
保険積立金の積立による支出	△8,186	△8,850
保険積立金の払戻による収入	2,000	983
その他	21,685	8,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454,809	△211,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,158	△7,158
配当金の支払額	△28,700	△28,699
自己株式の取得による支出	—	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,858	△35,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△720,079	4,600
現金及び現金同等物の期首残高	2,075,170	1,732,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,091	1,736,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。